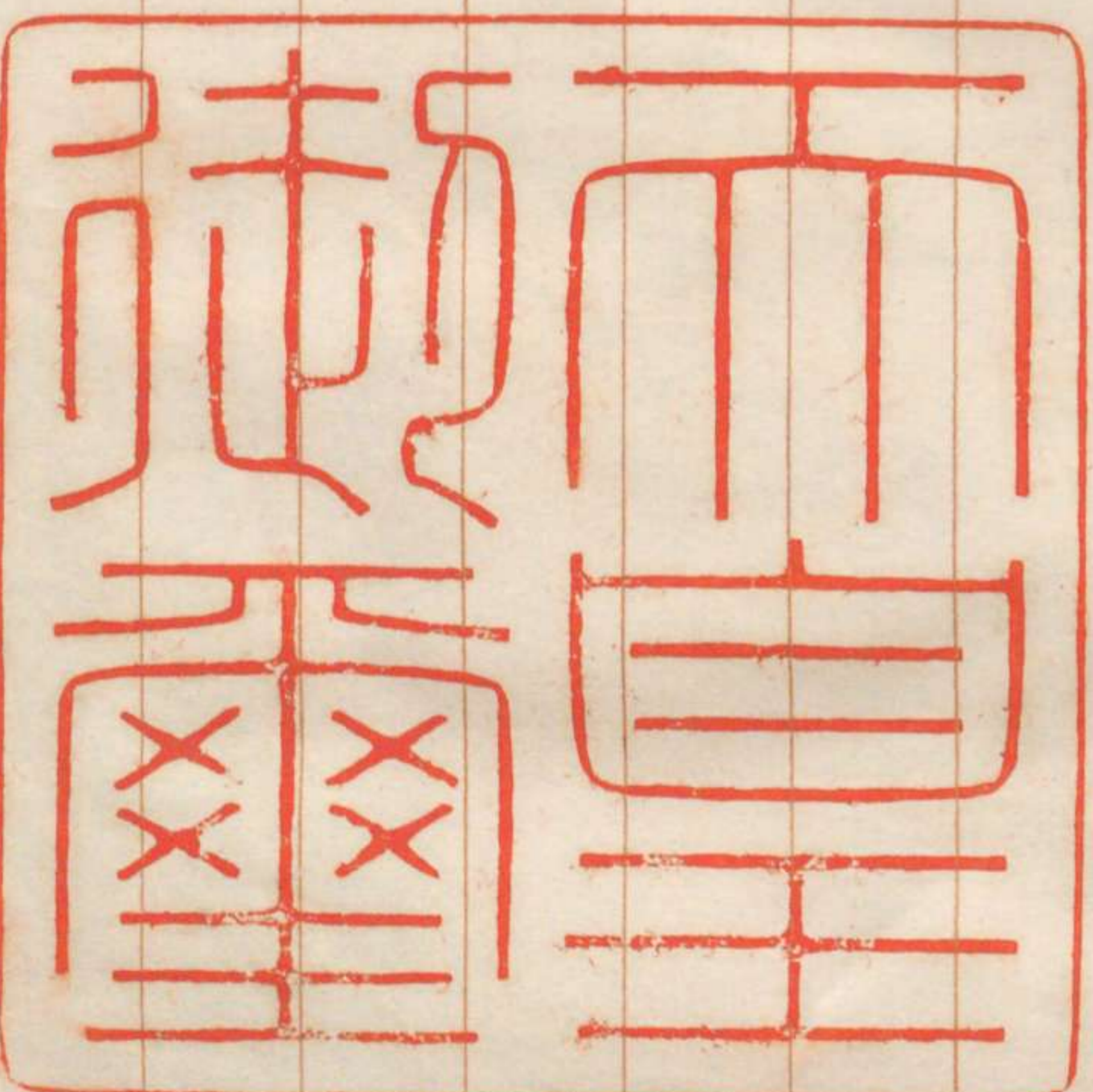


勅令第三十三号

朕作業及鐵道會計規則ヲ裁可シ茲ニ
之ヲ公布セシム

睦仁



明治二十三年三月二十日



大藏大臣伯爵松方正義
陸軍大臣伯爵大山巖
遞信大臣伯爵後藤象二郎
農商務大臣岩村通俊

勅令第三十三號

作業及鐵道會計規則

第一章 歳入歳出

第一條 左ノ諸收入ヲ以テ作業所ノ歳入トス

第一 作業上ノ收入

第二 附屬雜收入

第二條 造幣局印刷局富岡製絲所電信燈臺
用品製造所廣島鑛山ニ於テハ左ノ諸費ヲ
以テ歳出トス

第一 技術員ノ俸給諸給旅費

第二 職工人夫ニ給スル諸費

第三 作業用器具機械ノ維持修理及補充費

第四 材料素品購入代

第五 動力費

第六 作業場用備品消耗品費

第七 建物築造道路船舶ノ維持修理及補充費

第八 損失金

第三條 東京砲兵工廠大阪砲兵工廠ニ於テハ左ノ諸費ヲ以テ歳出トス

第一 職工人夫ニ給スル諸費

第二 作業用器具機械ノ維持修理及補充費

第三 材料素品購入代

第四 機械運轉用品購入代

第五 作業場用備品消耗品費

第六 損失金

第四條 千住製絨所ニ於テハ左ノ諸費ヲ以テ歳出トス

第一 事務員技術員ノ俸給諸給旅費

第二 事務所費

第三 職工人夫ニ給スル諸費

第四 作業用器具機械ノ維持修理及補充費

第五 材料素品購入代

第六 機械運轉用品購入代

第七 作業場用備品消耗品費

第八 生産品販賣諸費

第九 土地建物ノ維持修理費

第十 損失金

第五條 鐵道事業ニ於テハ左ノ諸費ヲ以テ
歳出トス

第一 營業ニ従事スル職員ノ俸給諸給旅費

第二 職工人夫ニ給スル諸費

第三 鐵道築造物建物車輛器具機械ノ維持修理及補充費

第四 材料素品購入代

第五 汽車及機械運轉用品購入代

第六 營業事務所停車場機械場客車用備品消耗品費

第七 損害賠償金

第八 訴訟費

第九 手數料保險料借料廣告料謝金外國注
物品監査費其他營業上ノ雜費

第十 運輸收入割戻金

第十一 損失金

第二章 豫算決算

第六條 歳入歳出ノ豫定計算書ハ所管大臣之
ヲ調製シ前年度六月三十日マテニ各省豫
定經費要求書ト俱ニ之ヲ大蔵大臣ニ送付
スヘシ

第七條 歳入歳出ノ豫定計算書ハ科目ヲ分

チ成ルヘク歳入ノ性質歳出ノ用途ヲ明示
スヘシ

第八條 所管大臣ハ其年三月三十一日ニ終リ
タル會計年度ノ受拂勘定表及固定資本
價格増減表ヲ調製シ歳入歳出ノ豫定計
算書ニ添付スヘシ

第九條 歳入歳出ノ決定計算書ハ所管大臣
之ヲ調製シ翌年度八月三十一日マテニ之ヲ
大蔵大臣ニ送付スヘシ

第三章 收入支出

第十條 歳入歳出ノ豫算ハ決定ノ後豫備費
ヲ除キ所管大臣各作業事務長ニ命シテ之ヲ
執行セシムヘシ

各省大臣ハ作業支部局長ヲシテ歳出豫算
ノ一部ヲ執行セシメントスルトキハ仕拂豫
算ヲ以テ之ヲ命スヘシ

仕拂豫算ニ關スル規程ハ會計規則第十一條
第十二條第十三條ニ依ルヘシ

第十一條 豫備費ノ支出ハ會計規則第十九條
第二十條第二十四條ニ依ルヘシ

第十二條 作業所ノ收入官吏ハ會計規則第二
十五條第二十六條第二十八條若クハ第二十
九條ノ手續ニ依リ收入ヲ取扱フヘシ

第十三條 作業所ハ据置運轉資本ニ屬スル
現金ノ持越高及當該年度ノ收入濟歳入額
ヲ以テ仕拂元受高トシ歳出ヲ支出スルハ
此仕拂元受高ヲ超過スルヲ得ス

第十四條 作業事務長又ハ作業支部局長
ハ歳出ヲ支出スル為メ金庫ニ向テ仕拂請
求書ヲ發スヘシ

第十五條 仕拂請求書ヲ發スル官吏ハ正當債主若クハ其代理人ノ為メニスルニアラサレハ仕拂請求書ヲ發スルヲ得ス但俸給諸給ヲ除キ支部局及派出工場ニ於テ仕拂ヲナス經費外國ニ於テ仕拂ヲナス經費職工人夫ノ給料諸手當ハ仕拂請求書ヲ發シ主任ノ官吏又ハ外國派出ノ官吏ヲ仕拂官吏トシテ現金ノ前渡ヲナスコトヲ得

第十六條 仕拂請求書ヲ發スル官吏ハ總テ仕拂請求書ヲ發スル前其支出ハ正當ニシ

テ必要ナルヤヲ調査シ其金額ヲ算定シ又其支出ハ豫算ノ目的ニ違フコトナキヤ金額ハ豫算定額及仕拂元受高ニ超過スルコトナキヤヲ調査スヘシ

第十七條 仕拂請求書ニハ債主若クハ其代理人ノ氏名仕拂ヲ請求スル金額支出科目年度番號支出ノ目的ヲ記載スヘシ但俸給諸給ニ限リ集合仕拂請求書ヲ發シ別ニ各受取人ノ金額氏名表ヲ添ユルコトヲ得現金前渡ノ仕拂請求書ニハ前渡ヲ受クヘ

キ官吏ノ資格氏名前渡ヲナスヘキ金額支
出科目年度番號支出ノ目的ヲ記載スヘシ

第十八條 仕拂請求書取扱ノ手續ハ會計規則
第三十五條第三十六條第三十八條仕拂命令
取扱ノ例ニ依ル

第十九條 各年度ノ歳出ニ屬スル仕拂請求書
ヲ發スルハ毎年度三月三十一日ヲ限リトス

第二十條 現金前渡ヲ受タル官吏監督ノ規
則ハ大藏大臣所管大臣ニ協議シテ之ヲ定
ムヘシ

第二十一條 金庫ニ於テ仕拂請求書ニ對シテ
仕拂ヲ執行シ又ハ之ヲ拒絕スルハ會計規則
第四十三條第四十五條第四十六條仕拂命令
取扱ノ例ニ依ル

第二十二條 毎年度内ニ收入ヲナスヘキ權利
ヲ得テ當該年度内ニ收入濟トナラサルモノハ
收入未濟トシテ順次翌年度へ繰越シ現ニ收
入ヲナレタル年度ノ歳入ニ組入ルヘシ

第二十三條 毎年度内ニ仕拂ヲナスヘキ義務
ヲ生シ當該年度内ニ仕拂請求書ヲ發セサル

モノハ支出未済トシテ順次翌年度へ繰越シ
當該年度經過後滿五箇年内ハ支出ノ請求
アル毎ニ仕拂請求書ヲ發スヘシ但支出未済
ノ繰越額ハ支出調定濟額ト合シテ豫算定額
ヲ超過スルヲ得ス

第二十四條 毎年度内ニ於テ仕拂請求書ヲ發
シ金庫ニ於テ仕拂ノ請求ヲ受ケサルモノハ
仕拂未済トシテ之ニ相當スル資金ヲ翌年
度へ繰越シ第二十一條ノ規程ニ依リ仕拂ヲ
ナスヘシ

第二十五條 ハ未済金ハ會計法

第十八條ニ依リ事務ヲ免レタルトキ
ハ其期滿免除タル年度ノ一般歳

入ニ組入ルヘシ

第二十六條 收入官吏ハ取扱タル收入ヲ記

入スル帳簿ノ結果ニ依リ毎月收入報告書

ヲ調製シ參照書類ヲ以テ翌月十五日マテニ

所管大臣ヲ經由シテ之ハ大藏大臣ニ送付ス

ヘシ但作業支部局ノ收入官吏ハ其收入報告書

ヲ翌月七日マテニ作業事務本局ノ收入官吏



モノハ支出未済トシテ順次翌年度へ繰越シ
當該年度經過後滿五箇年内ハ支出ノ請求
アル毎ニ仕拂請求書ヲ發スヘシ但支出未済
ノ繰越額ハ支出ノ未済額ト合シテ豫算定額
ヲ超過スルヲ得

第二十四條 毎年四月内ニ於テ仕拂請求書ヲ發
シ金庫ニ於テ仕拂ノ請求ヲ受ケサルモノハ
仕拂未済トシテ翌年度へ繰越
ナスヘシ



第二十五條 前條ノ仕拂未済金ハ會計法
第十八條ニ依リ仕拂義務ヲ免レタルトキ
ハ其期滿免除トナリタル年度ノ一般歳
入ニ組入ルヘシ

第二十六條 收入官吏ハ其取扱タル收入ヲ記
入スル帳簿ノ結果ニ依リ毎月收入報告書
ヲ調製シ参照書類ヲ添ヘ翌月十五日マテニ
所管大臣ヲ經由シテ之ヲ大藏大臣ニ送付ス
ヘシ但作業支部局ノ收入官吏ハ其收入報告書
ヲ翌月七日マテニ作業事務本局ノ收入官吏

ニ送付スヘシ

第二十七條 作業事務本局収入官吏作業全部ノ收入合計表ヲ調製シ諸收入官吏ノ收入報告書ニ添付シ前條ノ手續ニ依リ之ヲ大蔵大臣ニ送付スヘシ

第二十八條 會計主務官ハ其調定シタル支出ヲ記入スル帳簿ノ結果ニ依リ毎月支出報告書ヲ調製シ参照書類ヲ添ヘ翌月十五日ヲニ所管大臣ヲ經由シテ之ヲ大蔵大臣ニ送付スヘシ但作業支部局會計主務官ハ其支出

報告書ヲ翌月七日マテニ作業事務本局會計主務官ニ送付スヘシ

第二十九條 作業事務本局會計主務官ハ作業全部ノ支出合計表ヲ調製シ諸會計主務官ノ支出報告書ニ添付シ前條ノ手續ニ依リ之ヲ大蔵大臣ニ送付スヘシ

第四章 資本

第三十條 資本ハ總テ價格ヲ付シテ計算スヘシ

第三十一條 資本ノ價格ハ左ノ方法ニ依テ之ヲ

定ム

一 土地ハ近隣地ノ賣買價格五箇年間ノ平均ニ依ル近隣ニ比較スヘキ相當ノ土地ナキトキハ五人以上ノ評價人ヲ定メ其評定價格ノ平均ニ依ル

二 建物鐵道其他築造道路船舶機械器具其他ノ物品ハ建築費又ハ購入價格ニ依ル建築費又ハ購入價格ノ不明ナルモノハ物件ノ輕重ニ依リ二人以上ノ評價人ヲ定メ其評定價格ノ平均ニ依ル

三 材料素品機械ノ運轉用品ハ購入價格ニ依ル

四 生産品ハ生産費ニ依ル但賣買契約濟トナリタルモノハ其賣渡代價ニ依ル

第三十二條 土地ノ價格ハ前條ノ方法ニ依リ每五年ニ之ヲ改定スヘシ

第三十三條 公衆用ニ供スル鐵道ノ固定資本ハ每五年ニ五人以上ノ評價人ヲ定メ其評定價格ノ平均ニ依リ之ヲ改定スヘシ

第三十四條 建物公衆用ニ供セサル鐵道其

他築造道路船舶機械器具其他物品、永遠保存品ヲ除キ總テ保存期限ヲ定メ其期限ニ應ジテ毎年價格ヲ递减スヘシ

前項中固定資本ニ屬スル物件ヲ修理シタルトキハ其修理費ヲ以テ現年ノ價格加ヘ再

第三十五條 前條ノ物件ヲ修理シタルトキハ保存年限ヲ改定シテ之ヲ延フルコトヲ得

第三十六條 材料素品機械ノ運轉用品ノ年度内未消費ニ屬スルモノ市價低落又ハ毀損

變質等ニ由リ其價格ヲ減スルトキハ每年度ノ終リ當時ノ市價ニ依リ其價格ヲ改定スヘシ

第三十七條 生産品ノ年度内未販賣ニ屬スルモノ需用ノ變動生産法ノ改良又ハ毀損變質等ニ由リ其價格ヲ減シ實際ノ市價生産費以下トナルトキハ每年度ノ終リ當時ノ市價又ハ當年度ノ生産費ニ依リ其價格ヲ改定スヘシ

第三十八條 材料素品機械ノ運轉用品生産品

其他ノ物品ニシテ不用ニ歸シタルモノハ總
テ損失トシ其價格ヲ削除シテ不用物品ニ
組入レ之ヲ賣拂フヘシ

第五章 受拂勘定

第三十九條 受入ニ屬スルモノ左ノ如シ

第一 歳入ノ收入濟額

第二 收入未濟額

第三 据置運轉資本屬スル現金ノ持越高

第四 總生産品ノ價格

第五 總材料及素品ノ價格

第六 總機械運轉用品ノ價格

第七 作業場用總備品ノ價格

第八 代價支出濟未收物品ノ價格

第四十條 拂出ニ屬スルモノ左ノ如シ

第一 歳出ノ支出調定濟額

第二 支出未濟額

第三 据置運轉資本額

第四 賣拂代價收入濟物品ノ價格

第五 賣拂代價收入未濟既出物品ノ價格

第六 消費シタル材料及素品ノ價格

第七 消費シタル機械運轉用品ノ價格

第八 損失ニ歸シタル物品ノ價格

第九 損失金

第四十一條 作業所ハ受入ノ總額ヨリ拂出ノ總額ヲ扣除シ殘餘アルトキハ作業ノ益金トシテ其事業ヲ營ミタル年度ノ一般ノ歳入ニ納付スヘシ

第六章 工事及物件ノ賣買貸借

第四十二條 工事及物件ノ賣買貸借ニ關スル規則ハ總テ會計規則第七章ノ例ニ依ル

第七章 出納官吏

第四十三條 出納官吏ニ關スル規則ハ第四十四條ニ定メタル期限ノ外總テ會計規則第八章ノ例ニ依ル

第四十四條 會計規則第九十五條ノ例ニ依リ會計主務官及收入官吏ノ會計検査院ニ提出スヘキ計算書ヲ所屬省又ハ事務管理廳ニ送付スルハ毎年度經過後二箇月以内トス

第八章 帳簿

第四十五條 大藏省ハ各作業會計ノ主計簿ヲ

備へ歳入、豫算額確定額、收入済額、收入未済額、歳出、豫算額仕拂元受高確定額、支出済額、支出未済額ヲ登記スヘシ

第四十六條 作業所、日記簿、原簿、補助簿ヲ備へ、其事業ニ關スル一切ノ計算ヲ登記スヘシ

第四十七條 收入官吏ハ、收入簿ヲ備へ、歳入、豫算額確定額、收入済額、收入未済額ヲ登記スヘシ

第四十八條 會計主務官ハ、支出簿、調定總計簿ヲ備へ、支出簿ニ、歳出、豫算額確定額、支出

調定済額、支出調定未済額ヲ登記シ、調定總計簿ニ、仕拂元受高支出調定済額ヲ登記スヘシ

第四十九條 收入官吏、現金前渡ヲ受タル官吏、現金ヲ出納スル場合ニ於テハ、現金出納簿ヲ備へ、其出納ヲ登記スヘシ

第九章 雜則

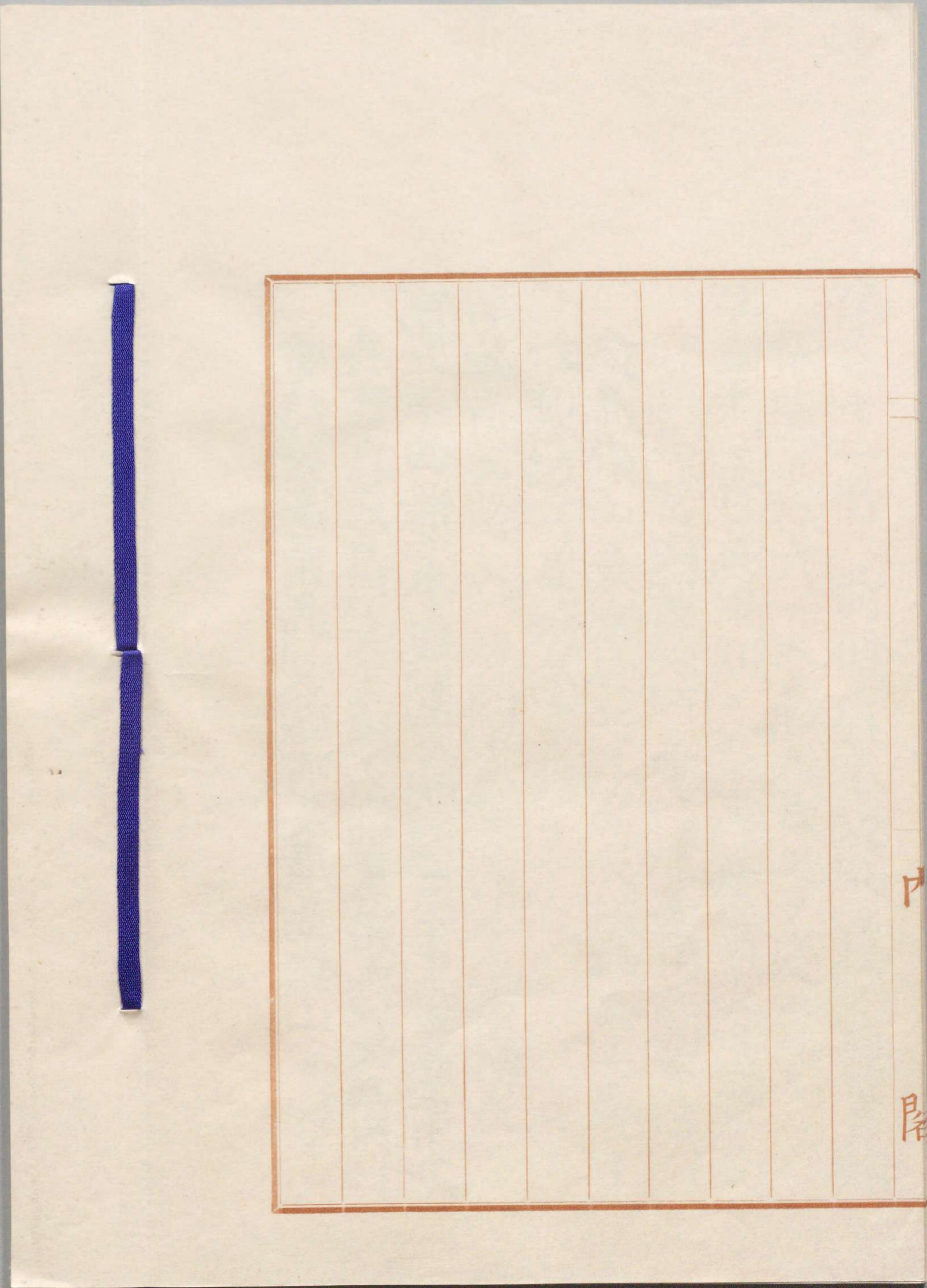
第五十條 本規則ニ依リ、出納官吏ヨリ會計検査院ニ提出スル所ノ證明書ニ關スル規程、様式、會計検査院ニ於テ之ヲ定ムヘシ

第五十一條 前條外本規則ニ掲クル諸書類
帳簿ノ様式ハ大藏大臣之ヲ定ムヘシ

第五十二條 此規則ニ於テ作業所トハ造幣局
印刷局富岡製絲所電信燈臺用品製造所
廣島鑛山東京砲兵工廠大阪砲兵工廠千
住製絨所及鐵道ヲ謂フ

第五十三條 此規則ニ於テ作業事務長トハ
鐵道局長官造幣局長印刷局事務長富岡製
絲所長東京砲兵工廠提理大阪砲兵工廠提理
千住製絨所長ヲ謂フ

電信燈臺用品製造所及廣島鑛山ニ於テハ
其事務管理長ヲ以テ作業事務長トス
第五十四條 本規則ハ明治二十三年度ヨリ
施行ス



内

陽